

一般質問通告内容

(令和7年定例会9月会議)

通告 番号	質問者	件名と質問の要旨
1	広地 紀彰 (議席番号 13番)	1. 地域医療の充実とまちづくりの関係性について (1) 地域医療の現状と課題について ① 北海道医療計画・東胆振地域推進方針と、白老町における医療提供体制の確保、広域連携と医療サービス向上に向けた取組との整合性や課題を伺います。 ② 町立病院の病床利用率及び外来患者数、介護医療院の利用率において、令和6年度と7年度の速報値に対する現段階での考察を伺います。 ③ 白老町立国民健康保険病院経営強化プランに掲げられた町立病院のあるべき姿と基本方針の実現に当たって、現状と課題を伺います。 (2) 町立病院の収支と財政負担について ① 令和6年度における経常収支、医業収支、他会計繰入金医業収支比率と、7年度予算に対する現時点の見通しを伺います。 ② 新病院開設に当たっての資本的、収益的収支の特筆すべき変動要因があるか伺います。 ③ 経営強化プラン実現に当たっての具体的な取組事項と進管理、課題解決に向けた考えを伺います。 (3) 地域医療の在り方と将来展望について ① 町内の医療ニーズの特性と、対応する医療体制、医師確保に対する考えを伺います。 ② 受診者数・病床利用率向上に向けた取組への考えと、必要な経営資源確保に当たっての考えを伺います。 ③ 病院職員の確保や研修機会の充実、町民に信頼され愛される病院づくりとして町民や地域との交流機会の確保に対する考えを伺います。 ④ 医師がより医療行為に専念できる環境づくりに対する考えを伺います。 ⑤ 町立病院の価値と託されている使命、それを実現するために何が必要か、展望と対策を総括的に伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
2	前田 博之 (議席番号 9番)	1. 行財政について (1) 令和6年度決算状況について ① 決算の収支状況と剰余金について ② 固定資産税、法人町民税への超過課税を賦課した経緯と税額の推移 ③ 財政調整基金・特定目的基金現在高、実質公債費比率及び主な財政指標について ④ 財政収支見通し(計画)との差異と整合性について ⑤ 決算の特徴と傾向及び評価について (2) 令和7年度予算の執行状況について ① 町税、交付税、町債発行、ふるさと納税等の歳入見通し ② 歳出の増減要素と懸念材料について ③ 各特別会計、企業会計の収支状況と追加繰出金の見込みについて ④ 7年度末財政調整基金・特定目的基金見込額について (3) 機構改革での主幹職の管理職手当廃止について ① 手当を廃止した理由と根拠について ② 廃止以前の主幹職一人当たりの管理職手当額と対象者数及び廃止による影響額について ③ 時間外手当と管理職手当の違い及び職員の過重労働の実態について ④ 管理職手当廃止による代替措置について 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
2	前田 博之 (議席番号 9番)	2. 政策・施策の取組について (1) 白老滑空場について ① 滑空場整備と維持補修及び町道整備並びに校舎等整備に要したこれまでの事業費について ② 滑走路の現状と維持管理・補修・管理体制等の状況及び使用実態について ③ 日本航空学園との契約とその内容及び用地貸付料並びに今後の利活用について (2) 白老港第3商港区の整備について ① 整備期間とこれまでに要した総事業費及び財源内訳について ② 令和8年度以降の事業計画と最終完成年度及び事業費と財源内訳について (3) コロナ後の地場産業、地域経済、地元事業経営等を取り巻く環境の実体把握と今後の動向について (4) 購買力流出の状況と購買力流出率の推移及びその影響と方策について (5) 地域経済対策としての「地域経済循環」の分析と地域経済循環率及びこれまでの取組と対策について (6) 企業誘致状況調査の調査内容と結果及び分析と活用について (7) 工業団地分譲地の残地状況と団地内、遊休地、路側帯等の草刈りをはじめとする工業団地エリアの面的環境整備の促進について (8) 観光協会の運営状況と今後の見通しについて ① 観光協会の各特別会計の収支・損益等の状況と課題について ② 白老駅北観光インフォメーションセンターの指定管理者と赤字収益事業の見直し及びその進捗状況と断行に至る工程について (9) 「蔵」の条例化、運営体制、町委託事業等の見直し、老朽建築物の除去、石蔵の老朽化対策等の進捗状況と実施に至る工程について (10) 旧社台、白老、竹浦小学校の除去等の具体的取組とそのため工程及び旧3校それぞれの解体費用と財源について

通告 番号	通告 番号	件 名 と 質 問 の 要 旨
2	前田 博之 (議席番号 9番)	(11) 建築確認申請件数と地元業者の受注状況及び町の土木・建築工事の発注状況、額の推移並びに地元建設業界を取り巻く環境について (12) 町上下水道管の老朽化と耐久性の状況及び現実的な更新方針と更新のための年度間事業実施所要額について (13) 公共施設敷地・学校施設敷地（校庭・グラウンド含む）の草刈り、除草の実施状況とその費用及び草刈り等を定期的・継続的に行うための実施計画の作成と管理体制について 答弁を求める者 町 長

通告 番号	通告 番号	件 名 と 質 問 の 要 旨
3	田上 治彦 (議席番号 2番)	1. 町立病院事業及び介護医療院事業について (1) 町立病院事業について ① 令和7年9月現在の入院患者数と経営状況及び今後の収支の見通しについて伺います。 ② 健康診断が病院受診の始まりともなると捉えているが、個人及び企業の健診利用者数及び収益について伺います。 ③ 町立病院広報誌の発行目的と編集方針及び発行時期について伺います。 ④ 医療等に関する苦情などの対応体制について伺います。 ⑤ 新たに開設された民間クリニックとの連携内容について伺います。 ⑥ 看護参事職が採用されたが、採用目的と看護参事職の立ち位置について伺います。 ⑦ 看護師育成のために導入される『クリニカルラダー』、『キャリアラダー』とはどのようなものか伺います。 ⑧ 看護師に2つのラダーを必要とする理由と取組方について伺います。 (2) 介護医療院事業について ① 令和7年9月までの入所者数の推移と経営状況及び今後の収支見通しについて伺います。 ② 入所希望者に対する入所判定審査の進め方について伺います。 ③ 理学療法士及び作業療法士の介護医療院での業務内容と一日の業務量について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
4	前田 弘幹 (議席番号 6 番)	1. 住み続けたいまちづくりについて (1) 役場新庁舎建設に向けての進捗状況について伺います。 (2) 白老牛肉まつり来場者のウポポイ及び町内経済への効果について伺います。 (3) 町立病院の入院患者数及び介護医療院入所者数の現状、職員（医師・看護師）の確保状況について伺います。 (4) 害虫や害獣の大量発生について、対策と課題を伺います。 (5) 国道36号白老西拡幅工事に関わって町が行うこととなる上下水道等地域インフラ工事の試算状況について伺います。 (6) コンパクトシティーや縮充のまちづくりと言われるが、何をもって縮充というのか伺います。 (7) 町のホームページの運用について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
5	森山 秀晃 (議席番号 7番)	1. 持続可能なまちづくりについて (1) 熊をはじめとした野生動物の被害に対する猟友会と町との連携状況と有事の際の対応について伺います。 (2) 土地利用の制限について ① 全国的に問題となっているソーラーパネル設置について、本町における条例等による規制強化の考えを伺います。 ② 道内各地で問題となっている、海外企業による水源地域の土地取得及び開発の制限に係る町の考えを伺います。 (3) 関係人口創出について ① 若年世代が高校卒業後の進学や就職により町外へ流出していることが本町の人口減少に大きな影響を与えていると考えるが、転出後も白老町への関心と愛町心を持ってもらうための対策について伺います。 ② 本町から転出した町民に就職や転職で町内に戻ってきてもらうための施策について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
5	森山 秀晃 (議席番号 7番)	2. 子供たちが誇れるまちづくりについて (1) プロスポーツチーム誘致の考えについて ① J リーグが令和8年から秋春制に移行することで、道内各市町村がJリーグクラブの夏のキャンプ地候補となっているが、本町の誘致活動の状況を北海道コンサドーレ札幌と包括連携協定を結んでいる点を踏まえ伺います。 ② 現在苫小牧市が候補とされる北海道日本ハムファイターズの2軍本拠地誘致について、白老町の立ち位置と隣町としての対応の考えについて伺います。 (2) スポーツに取り組める環境整備について ① スポーツに取り組む子供たちへの支援、補助制度の考えについて伺います。 ② 学校と連携したスポーツ活動に取り組める環境づくりについて伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
6	飛島 宣親 (議席番号 5番)	1. 地域活性化に向けたイベント・まつりの在り方について (1) 近年における町内のイベント開催状況や観光入込み数の動向と成果及び課題について伺います。 (2) イベントの活性化に向けた行政支援の強化について伺います。 (3) 各イベントの持続的発展に向けた官民連携の推進について伺います。 (4) 新たな観光資源創出とイベント間連携による経済波及効果の拡大について伺います。 (5) イベントにおける若者や移住者等、多様な人材の参画促進について伺います。 (6) イベント時の安全対策、駐車場の確保、悪臭、ごみ問題など、周辺環境への影響と対策について伺います。 (7) イベントによる魅力発信と、まちづくりへの効果について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
7	長谷川 かおり (議席番号 4 番)	1. 人の流れをつくるまちづくりについて (1) 民族共生象徴空間ウポポイが開設し5周年を迎えたが、来場者数と町の観光入込数について伺います。 (2) これまでのウポポイ町民利用促進事業の実績について伺います。 (3) 白老町デジタル田園都市国家構想総合戦略の基本目標②「人を引き寄せる資源の活用」の基本施策に「ふるさと納税の維持・拡大による関係人口増」とあるが、具体的な取組と今後の展開について伺います。 (4) 観光のまちとして、来町する聴覚障がい者のために、観光施設に手話通訳派遣を導入する考えについて伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
7	長谷川 かおり (議席番号 4番)	2. 子育て世代の包括的支援について 第3期白老町子ども・子育て支援事業計画の中で、『子育て世代包括支援センターの機能と児童福祉の機能を併せ持つ「こども家庭センター」の設置に向けた検討を進めます。』とあるが進捗状況を伺います。 (1) 子育て世代包括支援センターの機能と課題について (2) 本町における児童福祉機能の現状と課題について (3) 本町における児童虐待の相談・通報件数について (4) こども家庭センターの役割と必要性について 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
8	貳又 聖規 (議席番号 10番)	1. 魅力と活力にあふれ、賑わいが生まれる産業のまちについて (1) 魅力ある観光地の形成について ① 地域DMOである（一社）白老観光協会の旅行業登録に向けた進捗状況を伺います。 ② 令和6年度に実施した観光庁補助事業「欧米豪層をターゲットとした地域の魅力滞在コンテンツ造成事業」による、令和7年度への効果と課題を伺います。 (2) 訪れやすいまちづくりの整備・充実について ① 白老駅への「おもてなし看板」の設置や観光案内標識整備の進捗状況を伺います。 ② 白老駅ではＩＣカードが利用できず、観光客や町民に不便をかけているが、利用者の声に基づく実態把握調査と、導入に向けた町の要望等の進捗状況について伺います。 (3) 新たな誘客への取組について ① 本町における過去5年間の教育旅行の受入れ実績を伺います。 ② アドベンチャーツーリズムの3要素（自然体験・アクティビティ・文化交流）の事業者の態勢（準備状況・対応力）について伺います。 ③ アドベンチャーツーリズムの受入窓口整備について伺います。 (4) 特性を生かした観光振興について ① 文化庁が進める「文化観光拠点計画」の策定に向けた町の検討状況を伺います。 ② モデル地域と位置づけられた場合のメリットをどのように捉えているか伺います。 ③ 仙台藩白老元陣屋資料館の活用により、観光振興と文化保存の好循環創出をどのように考えるか伺います。 ④ 文化観光振興法に基づく地域計画の活用と、自治体と旅行会社との協定による地域経済活性化についての町の見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
8	貳又 聖規 (議席番号 10番)	2. 白老東高校の存続に向けた方針について (1) 町内中学校からの進学率の現状と改善策について 町内中学校卒業生の白老東高校進学率は、近年約3割で推移している。高校存続に向けた大きな指標であるこの数値を、町としてどのように改善しようとしているのか、具体的な取組と効果を伺います。 (2) 高校の特色化（国際理解・ウポボイ連携等）の可能性について 全国に類を見ない地域資源であるウポボイや国際理解教育を取り入れた特色ある学科・教育プログラムの導入について、町として北海道教育委員会等に働きかけや検討を行っているのか伺います。 (3) 将来ビジョンについて 人口減少の中で高校の存在は町の活性化に直結します。単なる魅力化支援にとどまらず、10年後の町の姿を見据えて白老東高校をどのように位置づけるのか、明確なビジョンを伺います。 (4) 地域協働コンソーシアムと町の役割分担について 白老東高校の魅力化は、学校側・コンソーシアムの取組に依存している印象を受ける。町として受け身ではなく主体的に関わる姿勢をどのように打ち出すのか、その考えを伺います。 (5) 全国・海外からの生徒受入れを視野に入れた戦略について 少子化により地元進学者数の増加だけでは限界がある。全国から、さらには海外からも生徒を募る特色校づくりや留学生受入れの可能性について、町の考えを伺います。 答弁を求める者 教育長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
9	佐藤 雄大 (議席番号 8番)	1. 第6次総合計画について (1) 人口減少抑制プロジェクトについて ① 子育て環境の充実や健康寿命の延伸による自然減の抑制について現状と課題を伺います。 ② 移住定住の促進による社会減の抑制について現状と課題を伺います。 ③ 将来目標人口の現状と課題及び町としての捉えを伺います。 (2) 町民・民間事業者等との協働について ① 地域における協働の担い手の活動・育成支援の現状と課題について伺います。 ② 業務委託等、民間活力の活用、連携の現状と課題及び今後の展望について伺います。 (3) 共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まちの実現について ① 町民参加のプロセスの成果と今後の展望について伺います。 ② まちの将来像のビジョンを町民に分かりやすい形で共有する必要があると考えるが、町の見解を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 0	西田 祐子 (議席番号 1 2 番)	1. 地域女性活躍推進事業について 地域女性の活躍を支える事業は、地域の持続性や多世代交流の観点からも重要な役割を担っています。白老町においてもNP0 法人ウテカンパをはじめとする地域女性による活動が展開されています。 (1) 地域女性活躍推進事業の成果について これまでの事業実績、町としての評価と課題認識について (2) 担い手支援の取組について ① NP0 法人ウテカンパへの委託事業の内容 ② 事業が担い手の育成・定着にどう寄与しているか (3) 今後の事業改善の方向性について ① 住民主体の活動支援に向けた見直し ② デジタルの活用や学校との連携など、若年層や多様な層の参画促進策 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 0	西田 祐子 (議席番号 12番)	2. 観光振興施策と地域資源の活用について 白老町は、民族共生象徴空間ウポポイをはじめ、豊かな自然、温泉、食文化など多様な観光資源を有しています。観光振興は地域経済の柱であり、町としても継続的な取組を進めていると認識しています。 しかしながら、ウポポイ開業から5年を経て、観光客数の推移、町内消費への波及、住民参画の実感などに課題が残っていると感じています。観光施策が単発的な事業にとどまらず、制度的裏づけと中長期的戦略のもとで、地域全体に持続的な利益をもたらすよう、以下の点について伺います。 (1) 観光施策の成果、評価と財政的持続可能性 ① ウポポイ関連イベントや観光振興事業の実施状況、来場者数、地元経済への波及など、成果と町の評価について伺います。 ② 地元店舗への波及、SNS の反響、住民の声など、定性的な評価やイベントごとの KPI 設定、PDCA 導入による改善を取り入れる考えについて伺います。 (2) 地域資源の活用と住民参画の仕組み ① 地域資源の活用にあたり、住民からのアイデア募集やワークショップの開催など、参加型の取組は行われているか。観光ルート整備における民間・住民との協働事例、デジタルマップ化やストーリーテリングの工夫について伺います。 ② イベント等の開催に際し、住民・若者の参加機会の確保状況について伺います。 (3) 観光客数の推移とデータ活用 令和6年度の月別観光客数の推移と、減少傾向が見られる月の要因分析(天候・交通・イベント等)について伺います。 (4) アイヌ交付金の活用 地域循環バス「元気号」、デマンドバス「カムイ号」、交流促進バス「ぐるぽん」の各運行経費、交付金の内訳と今後の見通しについて伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 0	西田 祐子 (議席番号 1 2 番)	3. 文化政策と住民参画について (1) アイヌ文化を学ぶふるさと学習事業等、アイヌ文化教育に係る予算、学校連携、体験学習、講座などの実施状況と町の評価を伺います。 (2) ウポポイ年間パスポートの利用率、対象範囲、広報の工夫について町の見解を伺います。 (3) ウポポイを活用した住民参加型イベントの実施状況と、学校・サークルによる発表機会の拡充方針について伺います。 (4) ウポポイが実施するウアイヌコロ会議への町の関与、地元高校生の参加支援、事前研修の可能性、教育委員会との連携について伺います。 (5) 文化アンバサダー制度の創設、有償ボランティアの導入など町民による文化発信の仕組みについて、町の方針を伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 1	水口 光盛 (議席番号 1 番)	1. 行政の情報発信について (1) 行政からの情報発信は、単に情報を知らせるだけでなく、町民に行政の取組を理解いただき共感を得て、まちづくりへの参加を促すという重要な役割を担っていると考えますが、本町の情報発信における理念や基本方針について伺います。 (2) 情報の「正確性」「迅速性」「公平性」「分かりやすさ」など、様々な要素がありますが、本町では何を最も重視し、町民への情報提供に取り組んでいるのか伺います。 (3) 情報の信頼は正確性によって担保され、誤った情報発信は、町民の混乱や行政への信頼失墜を招くことがあり、情報の正確性を確保するために、庁内ではどのような確認プロセスやルールが定められているのか具体的な体制について伺います。 (4) 現在、広報紙や SNS など様々な媒体が活用され情報発信が行われていますが、日本語での情報収集が困難な外国人、若者や子育て世代、高齢者など、それぞれの対象に応じた、より効果的な情報伝達が求められると考えますが、現在の手法に加えて新たに導入を検討している媒体や、本町の情報発信をさらに充実させるための将来的なビジョンや計画について伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 1	水口 光盛 (議席番号 1 番)	2. 職員の定着と職場の環境づくりについて (1) 町政運営において職員は重要な人材であり、採用・定着・職場環境の整備は重要と考えます。人口減少や価値観の多様化が進む中で、行政を支える人材の確保と定着には、これまで以上の工夫と柔軟な対応が求められますが、本町が職員を採用する際に最も重視している点を伺います。 (2) 職員の採用に関して、具体的にどのような広報活動や募集の取組を行っているのか伺います。また、学生や社会人に本町で働くことの魅力をより効果的に伝え、多様な人材を確保していくために、新たな採用戦略の検討状況について伺います。 (3) 近年、職員の中途退職や他自治体職員への転職が一定数見受けられるが、こうした人材の流動化について、どのように捉えているのか見解を伺います。また、他自治体職員への転職者の実態及びその背景にある要因についてどのように分析しているのか伺います。 (4) 職員が安心して働くことができる職場環境を整備するために、メンタルヘルス不調の未然防止と相談体制、業務量の適正化と時間外勤務の縮減、育児や介護と仕事が両立できる支援制度の充実、そして各種ハラスメントの防止と発生時の対応といった観点も含め、本町としてどのような考え方をもち、具体的にどのような取組を進めているか見解を伺います。 (5) 職員のモチベーションや職場への満足度について、職員アンケートや面談等を通じて把握している現状の認識について伺います。また、職員の意欲や能力をさらに引き出すために、人事評価制度の見直し、キャリア形成を支援する研修、表彰制度、職場内のコミュニケーション活性化策など、現在行っている具体的な取組と、それによってどのような成果が得られているか伺います。 答弁を求める者 町 長

通告 番号	質問者	件 名 と 質 問 の 要 旨
1 1	水口 光盛 (議席番号 1 番)	3. 機構改革の効果と課題について (1) 機構改革の実施から一定期間が経過しましたが、現時点での効果や成果についてどのように評価しているか見解を伺います。 (2) 新たな組織体制で働く職員の反応や運用上の課題、現場の混乱や戸惑いが生じた際に、どのように把握し対応しているか伺います。また、機構改革は職員のモチベーションや士気にどのような影響を与えていると分析しているか伺います。 (3) 部長と課長の役割分担について明確化され円滑に機能し、特定の役職や部署に業務が偏在していないか伺います。さらに、組織全体の業務バランスを最適化し、管理職のマネジメント能力を一層強化していくために、今後どのような取組を検討しているか伺います。 (4) 機構改革後の実態を踏まえ、必要に応じた体制の見直しや柔軟な改善、定期的な効果の検証の仕組みが求められると考えますが、今後の見直しや改善に向けた将来的なビジョンや計画について伺います。 (5) 今回の機構改革によって、町民が受ける行政サービスは具体的に何がどのように向上し、また逆に窓口の変更等で不便をかけた点があれば、その内容と今後の改善策について伺います。 答弁を求める者 町 長